

# 2013年3月期第2四半期

## 決算補足説明資料

2012年11月5日

東京応化工業株式会社

### 業績概要

(百万円、%)

	2011/9	2012/9		
			増減	増減率
売上高	40,992	36,654	△4,337	△10.6
営業利益	4,107	4,271	+164	+4.0
経常利益	4,242	4,418	+176	+4.2
当期純利益	2,488	2,841	+352	+14.2

- 期中平均為替 (US<sup>ドル</sup>) : 79.1円/<sup>ドル</sup> (2011/9) ⇒78.5円/<sup>ドル</sup> (2012/9)
- 売上高 : 装置事業の大幅減収により前年比10.6%の減収となったが、会社予想 (2012.5.9公表) に対して98.8%の進捗。
- 営業利益 : 装置事業の増益、材料事業での増益確保が奏功。前年比4.0%の増益。会社予想 (2012.5.9公表) に対して106.8%の進捗。

## 事業別セグメントの業績

(百万円、%)

	2011/9	2012/9	
		増減	増減率
売上高	40,992	36,654	△4,337 △10.6
材料事業	34,497	33,742	△755 △2.2
エレクトロニクス機能材料	22,389	21,813	△575 △2.6
高純度化学薬品	11,747	11,689	△58 △0.5
その他	360	239	△121 △33.6
装置事業	6,494	2,912	△3,582 △55.2
営業利益	4,107	4,271	+164 +4.0
材料事業	5,283	5,325	+41 +0.8
装置事業	297	431	+133 +44.9
消去又は全社	△1,474	△1,485	△10 -

(注) 装置事業の売上は消去後の数字。2012/3期より受取技術料を売上高に計上(従来は営業外収益)。2012/3第2四半期累計(2011/9)について、受取技術料30百万円を売上高および営業利益に遡及反映。

**tok**

2

## 比較貸借対照表

(百万円)

	2012/9	12/3末比		
流動資産	84,120	+1,164	売上債権	△1,248
内、現金預金	53,299	+3,225	たな卸資産	△817
有形固定資産	28,634	△548	未収金	△216
無形固定資産	346	+100	建物及び構築物	△360
投資その他の資産	26,036	△347	機械装置	△523
流動負債	15,079	△1,484	工具器具備品	+229
買入債務	6,504	△117	建設仮勘定	+101
前受金	1,752	△1,595	投資有価証券	△415
固定負債	2,585	△27	繰延税金資産	+208
純資産合計	121,471	+1,881	長期貸付金	△54
総資産	139,137	+369	長期前払費用	△53
			利益剰余金	+1,941
			自己株式	+67
			為替換算調整勘定	+178
			その他有価証券評価差額金	△285

**tok**

3

## キャッシュフロー

(百万円)

	2011/9	2012/9
営業キャッシュフロー	+5,366	+5,930
税金等調整前当期純利益	+4,154	+4,117
減価償却費	+1,853	+1,800
貸倒引当金の増減(△)額	△55	△26
売上債権の増(△)減額	+1,399	+1,355
たな卸資産の増(△)減額	+3,405	+854
仕入債務の増減(△)額	△338	△147
前受金の増減(△)額	△4,668	△1,595
法人税等の支払い	△564	△618
投資キャッシュフロー	△11,985	+1,254
財務キャッシュフロー	△1,039	△1,109
換算差額	+22	+45
現金及び現金同等物の増減額	△7,634	+6,120

装置事業の検収促進

主な内訳

長期預金の純増預入 △4,500  
有形固定資産の取得 △1,317  
長期性預金の払戻収入 +6,500

主な内訳

配当金の支払 △1,116  
(含む少数株主)

**tok**

4

## 業績予想概要（通期）

(百万円、%)

	2012/3 実績	2013/3予想	
		増減	増減率
売上高	80,037	75,900	△4,137 △5.2
営業利益	6,102	8,000	+1,897 +31.1
経常利益	6,836	8,500	+1,663 +24.3
当期純利益	3,818	5,400	+1,581 +41.4

●為替前提(USドル):78.2円/ドル(2012/3通期)⇒80.0円/ドル(2013/3下期)

●売上高 :材料事業は下期増収に転じるが、装置事業の上期減収の影響が残り、減収。下期見通しの変更により期初予想比600百万円減収。

●営業利益:装置事業は下期減益。期初予想値を300百万円下回る水準だが、材料事業の利益拡大により前年比+31.1%増益を確保。

**tok**

5

## 設備投資・減価償却・研究開発



## 事業別セグメント業績予想

(百万円、%)

	2012/3	2013/3通期予想	
	通期実績		増減 増減率
売上高	80,037	75,900	△4,137 △5.2
材料事業	66,644	69,000	+2,355 +3.5
エレクトロニクス機能材料	43,246	43,800	+553 +1.3
高純度化学薬品	22,789	24,700	+1,910 +8.4
その他	609	500	△109 △17.9
装置事業	13,392	6,900	△6,492 △48.5
営業利益	6,102	8,000	+1,897 +31.1
材料事業	8,303	10,600	+2,296 +27.7
装置事業	908	400	△508 △56.0
消去又は全社	△3,108	△3,000	+108 -

(注) 装置事業の売上は消去後の数字

tok 7